

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リンテック株式会社 平塚事業所新築工事	階数	地上4F
建設地	平塚市西八幡一丁目103-6,101-9	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火指定なし、下水道処理区域 法22条区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年4月11日
敷地面積	11,418 m ²	作成者	(株)奥野設計
建築面積	3,361 m ²	確認日	
延床面積	7,904 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	省エネ性能の優れた建築設計と、室外・室内環境ともに化学汚染物質を抑えた建材及び資材の採用で人にも環境にも優しい建物となっている	0
Q1 室内環境	断熱性能がとて高い建材を使用し、屋内では化学汚染物質を抑えたりと健康面・快適性に配慮を行っている	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑地を設け、ヒートアイランド現象の緩和に貢献する建物の向きや敷地内の建設場所となっている
LR1 エネルギー	外皮、設備ともに省エネ性能に優れた設計を行っている	LR3 敷地外環境 交通負荷の軽減および雨水・汚水の抑制を指導や法のものを行い、地域環境への配慮を行っている 同時に振動・騒音の規制を標準レベル程度ではあるが満たし周辺環境への配慮も行っている
Q2 サービス性能	天井に余裕を持ち、リフレッシュスペースの充実を図り、外装・内装に耐用性の優れた建材・資材を使用しより良い状態を長く保つなど、働きやすさや建物の信頼性を高める配慮を行っている	
LR2 資源・マテリアル	水資源保護の為節水器具を多く採用、また解体時に再利用できるユニット部材を採用することで非再生性資源の使用削減に貢献、さらに汚染物質を含む建材・資材の使用を控えている	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される